

GWI UPDATE 2020年5月27日号

ご存じでしたか

1955年GWIの第36回評議員会の折に、現在GWIであるIFUW（国際大学女性連盟）のJRobb博士は、彼女がECOSOC（経済社会理事会）に代表として出席することを焦点に演説を行った。GWIの歴史書によれば、Robb博士は当連盟のECOSOCとの諮問的關係について素晴らしい論述をした。彼女は次のように述べた——その關係のきわめて重要な面とは、傘下の協会それぞれの国家政策に対するIFUWの行動が“国際団体”たるIFUWから起こされねばならないということ、そしてECOSOCとの關係が双方向、すなわちIFUWが与えられた特殊諮問資格を通して国連に専門家の意見を提供でき、また逆に、ECOSOCの情報が“私たちの組織とメンバー全体”から伝わる、ということだ——。

GWI UPDATE 2020年5月13日号

GWIはCOVID-19禍における隠れたGBVの広がり懸念を表明

GWIは、世界中で政府が学校や経済を再開するために慎重ながらも段階的に措置を導入していることに励まされている。しかしながら当団体は、COVID-19の副産物として世界的に見られる女兒や女性に対するジェンダー由来の暴力（GVD）の傾向に対して、大卒女性の声をあげることに注力する。重要なのは、各国がCOVID-19からの回復を段階的に進める中で、GWIとしては、加盟する各国協会（NFA）に対し、今なお続き重大な結果を引き起こすGBVに取り組む手助けに傾注することである。この目的のために、GWIは52のNFAs向けに特化した、COVID-19がGBVに与えた深刻な影響についての複数の所見を含む声明を作成した。声明の目的は会員、協力者、賛同者や同労者に彼らのコミュニティーにおける、COVID-19およびGBVに特有な危険を見出すための情報とそれらの危険を減らす措置をとる方法を提供することにある。個別的な声明はすでに配布されている。しかしながら、さらに意識を高めるために、加盟NFAがそれぞれGBVについての現地の懸念に関する現地の情報や、さらなる影響を書き入れるスペースを設けた包括的な声明が、[ここからダウンロード](#)できる。私たちは会員たちがこの声明を現地化し、広く配布するよう奨励する。